



1/13・14

第47回沖縄市産業まつり ～ちむどんどん数ある名品ここにあり～



本市で生産・加工された物産等を展示・販売することで、生産者の意欲の高揚と市民の市産品に対する意識の啓発を図ることを目的に、第47回沖縄市産業まつりがコザ運動公園で行われました。

体育館出展エリアでは、野菜、食品、物産、工芸などの展示販売。多目的広場では、企業PRやお仕事体験、屋外出展エリアでは、キッチンカーや屋台が立ち並んだほか、地域間交流として兄弟・姉妹都市等の出展がありました。

13日には、3年以内に開発等された市産品を表彰する新商品アワードの表彰式が行われ、2商品が最高金賞に、5商品が金賞に、10商品が優良賞に輝きました。

新商品アワード



最高金賞

- KOZA Bagel (ZEBRA.Bagel)
- なとーんどー三線 (池武当新垣三線店)

金賞

- 新里 WHISKY (新里酒造株式会社)
- Little ISLAND tyri ヤギミルク (Cheeseanista)
- 初恋クッキーアングイーたてがみライオン (RYUQ'S)
- 自然の舞フルーツボール (木工房 秀暖～SHUUDAN～)
- KOZA OKINAWA (鶴亀本舗)



1/9

改正障害者差別解消法施行に向け協議会発足

事業者へ障がい者への合理的配慮が義務化される改正障害者差別解消法の4月施行に向け、市は「沖縄市障がい者差別解消支援地域協議会」を立ち上げました。本協議会では福祉事業者、民間団体、行政等が情報を交換し、障がい者差別に関する相談を受け、対応を検討します。

第1回目の会議では、障がい特性の周知、啓発の促進、道路工事情報の事前共有等を求める声が上がりました。



1/13

長く従事し職の向上発展に寄与

長く同一職種に従事し、技能の錬磨及び後進の育成等その職種の向上発展に寄与した優秀な技能者の功労を称える「沖縄市技能功労者表彰式」が、沖縄市体育館で行われました。

被表彰者(敬称略・順不同) 東江康共(配管工・従事年数33年)、大城隆雄(自動車整備士・従事年数25年)、仲尾巨(鍛冶職・従事年数31年)、浦崎達也(調理師・従事年数39年)



1/13・14 オールスター戦に合わせバスケフェスタ開催

沖縄アリーナで行われた、国内男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」の祭典「B.LEAGUE ALL-STAR GAME WEEKEND 2024 IN OKINAWA」に合わせて、「BASKETBALL FESTA 2024 in OKINAWA CITY」がコザ運動公園で開催されました。

3on3バスケットボール大会の他、ステージでは音楽ライブやダンス等が披露され、多くのバスケファンや家族連れで賑わいました。



1/14 「博物館浴」でリラックス？

近年、博物館を見学しリラックスすることで健康増進を図る「博物館浴」が注目されています。博物館浴を研究する九州産業大学の緒方泉教授が講師となり、市郷土博物館で博物館浴を体験する講座が開かれました。65歳以上の部に7人、中高生の部に10人が参加し、博物館見学前後の血圧やストレス値を調べたところ改善が見られ、リラックス効果が確認されました。



1/15 沖縄市から世界へ JICA海外協力隊

JICA海外協力隊の青年海外協力隊として1月から2年間派遣される、市出身の謝花聡恵さんと前原信輝さんが市役所を訪れました。謝花さんはブラジルのサンパウロ人文科学研究所で30,000点以上ある収蔵品の適切な保存やデジタル化を進めます。前原さんは東ティモールの観光ホスピタリティスクールで受付、クリーニング等のホテル業務実技や英会話等の授業を行います。



1/15 住民同士の支え合いが地域の宝

日頃の何気ない挨拶や見守り、ゆんたく、地域の活動など住民同士の支え合いを“お宝”として認定し表彰する「沖縄市暮らしの中のお宝発表会」が、沖縄市民小劇場あしびなーで行われました。

発表会では、地域包括支援センター職員らが「地域住民と交流しお互いに気に掛けることで支え合いにつながる」と話しました。

【認定個人及び団体】佐久本那美子、平良千恵子、屋宜栄勝、福嶺初江、まーみな会、大正琴サークル、百寿会、ハッピーいきいき会、株式会社三和ハウス、チヒロ薬品、沖縄市青年会



1/16 アルビレックス新潟 歓迎セレモニー

サッカーJ1リーグで活躍しているアルビレックス新潟が、1月16日から31日まで本市でサッカーキャンプを実施するにあたり、歓迎セレモニーがタピック県総ひやごんスタジアムで開催されました。

選手を代表して堀米悠斗選手は「暖かな気候といいピッチで準備ができることを嬉しく思う」とあいさつ。沖縄市、沖縄市議会、沖縄市スポーツコミッションより記念品が贈られました。



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ





1/16 市歌の追加歌詞選定委員会 委嘱状交付式

沖縄市歌の追加歌詞選定委員会の委嘱状交付式が市役所で行われ、10人の委員が就任しました。
 市は令和6年度に市制施行50周年を迎えることを記念して、現行の市歌に追加する新たな歌詞を公募しており、集まった歌詞の選定を当委員会が行います。
 桑江市長は「これまでの経験や培われた知見を発揮して、市民に親しまれる、希望や思いのあふれる歌詞の選定をお願いします」と鼓舞しました。



1/16 映画でコザのまちを盛り上げたい

地方創生シリーズとして多くの映画制作を手掛ける大橋孝史監督が、キャストの横田未来さん、杏凧さん、川田広樹さんと市役所を訪れ、沖縄市を舞台にした地方創生短編映画「ござんちゅ」の撮影を報告しました。
 市内各所で撮影が行われた本作は、文化・観光地・食事・音楽など、さまざまな市の魅力を伝えられる作品を目指して制作。県内での上映イベントも検討されています。



1/17 今年度の輝かしい成果を報告

宮里中学校の前幸三校長と代表生徒10人が市役所を訪問し、今年度の各種コンクールや大会等で輝かしい結果を取めたことを比嘉教育長に報告しました。



- 第42回全国中学生人権作文コンテスト沖縄県大会 最優秀賞(琉球新報社賞) 富山詩織(3年)
- 令和5年度沖縄県中学校卓球選手権大会 女子個人1年の部 優勝 安里彩希(1年)
- 中頭地区中学校新人バドミントン大会 男子ダブルス優勝 佐久川楓(2年)、町田清介(2年)
- 第56回新報音楽コンクール 管打部門 中学校の部 1位 山根永莉菜(ユーフォニウム)(3年)
- 第56回新報音楽コンクール 弦楽部門 中学校の部 2位 佐藤あおい(バイオリン)(2年)
- 第48回沖縄県アンサンブルコンテスト 金賞 サクソフォン三重奏 代表 吉田愛歌里(2年)
- 第67回中頭地区中体連新人歌式野球大会 優勝 キャプテン 富路琉久(2年)
- 県中学校新人卓球選手権大会兼第25回全国中学選抜卓球大会県予選 男子団体優勝 九州大会・全国大会出場 キャプテン 國頭偉空(2年)
- 第51回中頭地区中学校新人バレーボール大会 優勝
- 第55回琉球放送旗争奪沖縄県中学校新人バレーボール大会 優勝(2連覇) キャプテン 柴引仁(2年)

1/18 第40回沖縄市社会福祉大会

市民が安心して生活していけるまちづくりの実現を目的とした、第40回沖縄市社会福祉大会が沖縄市民小劇場あしびなーで開催されました。
 今日大会では、市の社会福祉事業への功労があった個人や団体に対する表彰と、車いすユーザーで社会福祉士のピーチン美英氏による災害に関する記念講演が行われました。



1/19 コーヒー豆焙煎世界大会で入賞

市内でコーヒー豆の販売をする豆ポレポレの仲村良行さんが市役所を訪れ、コーヒー豆の焙煎を競う世界大会での上位入賞を桑江市長に報告しました。
 令和5年11月と12月に台湾で開催された2つの世界大会で4位と2位を獲得。同年12月にタイで開催された大会では、3位に入賞しました。仲村さんは「もうひと踏ん張り」と、さらに上を目指す決意を新たにしました。



1/20 中高生がキングスとコラボし商品開発

沖縄アリーナでの琉球ゴールデンキングスの試合終了後にコート上で、中高生が企画したグッズ製作の成果発表が行われました。
 宮里児童センターを利用する知念麗愛さん(宮里中1年)、中山聖鈴葉さん(宮里中1年)、中山美鈴夏さん(宮里中2年)、宮里麗輝さん(N高校1年)が、琉球ゴールデンキングスグッズとしてアクリルキーホルダーとツートントートバッグを製作し販売まで関わりました。



1/21 泡瀬漁港で日曜セリ市

「日曜セリ市」が泡瀬漁港にて開催されました。魚のおいしさを一般客に伝えたい、セリの雰囲気味わってほしいとの思いから昨年12月に初開催し、今回で2回目。

新鮮な魚やタコなど約300匹が並び、約80人の市民らが訪れました。子どもから大人まで元気に金額を言い合っセリを楽しみました。次回は3月17日開催予定です。

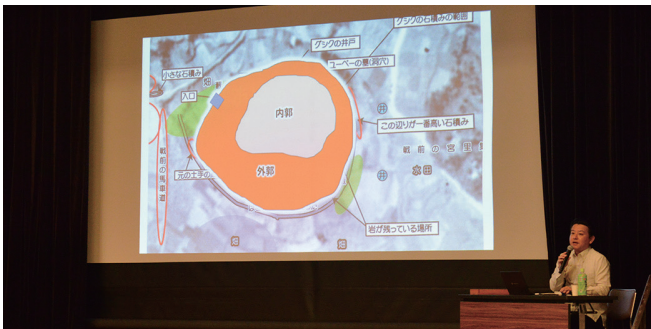


▲アカジンミーバイを競り落とした新開さんは「お汁にしておいしく食べる」と話しました。

1/21 沖縄市にあった巨大グスクの歴史に迫る

令和5年度沖縄市文化財講座「沖縄市にあった巨大グスク ～越来グスクと琉球の歴史～」が、沖縄市民会館中ホールで開催されました。

講師を務めた琉球歴史家の上里隆史氏から、中城城や勝連城より大きかったかつての越来グスクの姿、越来グスクに居城した尚泰久や鬼大城(大城賢雄)の戦国ドラマ、今後の整備計画と活用提案などが話され、会場に詰めかけた観客は真剣な眼差しで聞き入りました。



1/24・31 自主防災組織と市職員の防災研修

防災意識の向上と組織間の連携や交流を目的に各自主防災組織と未結成地域の自治会を対象に第1回自主防災組織研修会が市消防本部で開催され、市内の自主防災組織の活動紹介や補助金紹介などが行われました。

1月31日には市役所において課長級以上の115人を対象とした市職員防災研修が行われ、熊本県危機管理防災特別顧問の有浦隆氏から災害対応準備への心構えを学びました。



1/21 人馬一体、走りの美しさを競う

第19回琉球競馬「ンマハラシー」が沖縄こどもの国で行われました。「ンマハラシー」と呼ばれる沖縄の在来馬による競馬は、琉球王国時代から戦前までの約300年間、沖縄各地で楽しまれていました。

今大会では離島含む県内5団体から19頭の馬が出場、審査員と訪れた観客による審査で沖縄こどもの国の与那国馬の「どうなん」が騎手と息の合った優美な走りで観客を魅了し優勝しました。



1/23 第34期かりゆし塾成果報告

県経営者協会主催の官民交流型人材育成研修「かりゆし塾」の第4班が活動報告を行いました。

知花花織の生産過程で発生する「残布」をブランド化し、地元企業と連携し商品提案。オリジナルワッペン、オーダーメイドのオリジナルジーンズなどを制作し、今後一般販売に繋がるようルートづくりを行いました。今後も残布を有効利用した新たなコラボレーションを考案中です。

問合せ：知花花織事業協同組合 / ☎098-921-1187



1/26 「ジャパンアスリートカップ」への出場報告

白蓮会館沖縄支部の仲田央希支部長と選手の本原小学校3年仲松由真さん、安慶田小学校5年上間清広さん、宮里中学校2年田場典磨さんが市役所を訪れ、沖縄ブロック選抜指定大会で優秀な成績を納め、第6回W・K・Oジャパンアスリートカップ本大会へ出場することを報告しました。

桑江市長は「試合では100%の力を出して頑張って」と激励の言葉を送りました。





1/27 絵本の魅力～絵本のもつ力～

市立図書館にて沖縄女子短期大学児童教育学科の廣瀬真喜子教授を講師に「絵本の魅力～絵本のもつ力～」と題した講座が開かれ、市民ら24人が受講しました。

講座では、絵本の読み聞かせ実演を交えながら、保育における絵本の大切さ等について紹介があり、廣瀬教授は「絵本の読み聞かせを通して大人と子どもが共通の話題を持つことで、コミュニケーションツールにもなる」と話しました。



1/29 考案レシピが給食になった!

「第2回健康レシピコンテスト」小中学校の部で優秀賞に選ばれた、宮里中3年の仲間結寧さん考案の「トロピカルチャーハン」が、第2調理場管内の学校給食で提供されました。

地産地消のため、県産のパイナップルを使用し考案された本メニューは、味のバランスを考えカレー粉を加えるなど工夫があり、仲間さんは「普通ではありえない経験ができました。みんなに美味しく食べてもらえたら嬉しいです」と話しました。



2/1 “大宮アルディージャ”沖縄キャンプ

埼玉県さいたま市をホームタウンとするプロサッカークラブ「大宮アルディージャ」の沖縄キャンプ歓迎セレモニーが、タピック県総ひやごんスタジアムで行われました。

市や市議会などから花束や記念品が贈られ、選手を代表して加藤有輝選手は「今年の目標はJ3優勝、J2昇格です」と意気込みを述べました。キャンプは3年ぶりの6回目、2月10日まで行われました。



1/28 笑顔があふれたカローリング大会

年齢を問わず誰でも楽しむことができるカローリングの普及と競技を通して地域交流や世代間交流を図ることを目的に、「令和5年度 沖縄市カローリング大会」が沖縄市体育館で開催されました。

親子や友人らで編成された9チームが参加。どこから投球しようか親子で話し合う場面や点数の高いポイントゾーンに入るよう祈る場面が見られるなど、和気あいあい楽しみながら優勝を目指して競り合いました。



1/31 平和への思いを未来へ紡ぐ

戦争の悲惨さ、命の尊さなどを学び、平和への思いを継承する担い手として約9か月間活動してきた沖縄市平和大使の研修報告会が市役所で行われました。

大使らは平和大使ソング「時代の語り部」を手話を交えて斉唱し、代表して前川真一郎さんと友寄舜さんが座学や資料館見学、市外、県外の平和使節団や中学校との平和交流等で学んだ成果を報告しました。



2/2 踊りの輪は人の輪「中部はひとつ」

「第21回中部老連民踊まつり・第9回中頭民踊友好祭」が沖縄市体育館で開催されました。

前半では90歳以上の民謡愛好者31人への健康長寿表彰式が行われ、沖縄市からは3人が表彰されました。民踊団体発表では、中部地区の老人クラブ連合会など15団体の総勢800人が華やかな衣装で民踊を披露しました。



2/3 **かりゆしシニア大学第6期卒業式**

かりゆしシニアクラブ(沖縄市老人クラブ連合会)が設置するかりゆしシニア大学の第6期卒業式が老人福祉センターかりゆし園で行われました。

昨年5月の入学後、16講義が実施され、70歳から88歳までの21人が卒業を果たしました。皆出席賞は15人。卒業生の比嘉稔さんは「講義は非常に興味深く、時間がたつのも忘れるくらいだった」としました。



2/3 **白バイ隊員の運転技術を競う**

交通違反を取り締まる白バイ隊員の運転技術向上を図る「第48回沖縄県警察白バイ安全運転競技大会」がモータースポーツマルチフィールド沖縄(市倉敷)で行われ、一般公開されました。

大会には、女性2人を含む10人の隊員が参加し、運転の正確性やスピードを競いました。審査の結果、男性隊員の部では比嘉史弥巡査部長が、女性隊員の部では奥平梨乃巡査長が優勝しました。



2/4 **青年がまちづくりで意見交換**

10代から30代までの青年が沖縄市の取り組みについて自由に意見を出し、情報交換を行うことで、人材育成を図ることを目的とした沖縄市青年団協議会主催の「沖縄市青年フォーラム2024」が市農林研修センターで開催されました。

フォーラムでは、「エイサーのまち沖縄市の魅力を伝えるために!」をテーマに各青年会の会員約50人が、7人1組の7グループに分かれて意見交換し、発表を行いました。



2/3 **子どもたちの心と身体を磨く教室**

元総合格闘家の高田延彦さんが代表を務める株式会社高田道場主催のファミリー向けの体育教室「ダイヤモンド・キッズ・カレッジ(DKC)」が沖縄市では初めて、市体育館で開催されました。

DKCはアマチュアレスリングの要素を取り入れ、二人一組でのボディコンタクトを通し自己肯定の意識を高める教室で、参加者は親子ペアでタオル綱引きやタックルなど身体を動かしながら楽しみました。



寄付・寄贈等 皆さまのご厚意に感謝申し上げます。寄付金等贈呈式を行った皆さまをご紹介します。いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

1/24 **桑江 光子 氏**

市立小中学校24校へ
漫画『幸せなら手をたたこう 誕生物語』48冊



1/31 **公益社団法人 沖縄中部法人会 女性部会 (部会長 上門 美恵子)**

市立小学校16校へ
生理用品7,000個 ポケットティッシュ4,000個



特集

市政トピックス

連載コラム

市民カレンダー

おでかけカレンダー

おしらせ